

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立野田小	学校	児童数	84
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.00	15.94	31.29	34.24	38.04	9.69	149.12	21.65	47.64
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.38	15.06	40.09	31.65	31.65	9.91	147.82	11.91	49.88
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点に関しては、男子と女子ともに大阪市平均点と全国平均点より低い結果となっている。しかし、男子はソフトボール投げ、女子は立幅とびと長座体前屈が全国平均点より高く、種目によりかなりばらつきがある。特に反復横とびは、男女共に平均値が低く、改善が必要である。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」については、男女共に高い数値であり、運動に対する意欲は十分に高いと考えられる。しかし、その意欲が結果に結びついていない面がある。

また、1週間の総運動時間が60分未満の割合は男子が8.5%、女子が15%と全国平均より低い数値になっているので、まさに運動をしている学年だといえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度から休み時間の運動場の学年制限を撤廃し、全学年が毎時間遊ぶことができるようになった。そのことで、外で遊ぶ時間や機会も増え、ある程度運動できる環境になってきた。また同じように昨年度から運動委員会の取り組みとして休み時間に各学年を対象とした「ドッジボール講座」や「おにごっこ」などのイベントによって子どもが運動に親しむ場を設定し、一定の成果がでている。

しかし、体力調査の「反復横とび」に関しては、毎年数値が低く、課題である。日常の体育の授業で瞬発力が必要な運動を意識して取り入れていく必要がある。